

文教福祉常任委員会所管事務調査報告 文化振興について

文教福祉常任委員会では、平成27年6月議会より「文化振興について」をテーマとした所管事務調査を実施してまいりました。6月議会及び8月24日に開催した文教福祉常任委員会、9月議会では、市教育委員会に対し文化振興をテーマとした質疑を行ってまいりました。

本市では平成26年度、27年度の2カ年計画で文化振興計画を策定する事業方針が示され、平成26年9月より文化振興懇話会が設置されて一年以上にわたる協議、検討が行われておりました。

また計画策定に向けた市民アンケート調査、団体アンケート調査、ヒアリング調査などを取り組まれ、平成27年1月に「文化振興計画中間報告」、同年5月に文化振興懇話会から「文化振興計画の方向性に関する提言」が提出されております。

そして「中間報告」や文化振興懇話会の「提言」を踏まえ平成27年10月に「文化振興計画」案を公表し、パブリックコメントを経た上で平成27年12月に「京田辺市文化振興計画」を策定されております。

6月議会から9月議会にかけての所管事務調査で市教育委員会からこれらの取り組みについての説明、報告を受けてまいりました。質疑の中では委員より「学校施設を市民の文化活動に活用する手立てを具体化すべき。」との意見や、「文化関連施設が不足している状況にあるのではないか。」との指摘が出されました。

また平成28年1月14日には、所管事務調査の一環として東京都狛江市の「音楽の街づくり」構想と、同市の文化ホールである「エコルマホール」の運営などについて、視察研修を行いました。

今後、議員各自において京田辺市における文化振興の重要性を踏まえ、これらの取り組みを生かしていくこととして、「文化振興について」の所管事務調査のまとめといたします。